

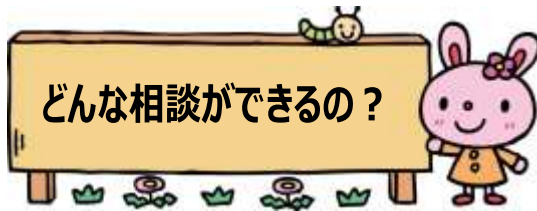
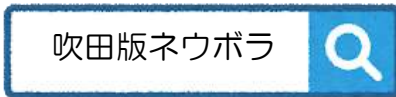


吹田版 ネウボラとは？

核家族化や地域とのつながりの希薄化等子育てを取り巻く環境が変化する中、子育て世代が孤立しないように、また、安心して子育てができるように、子育てにやさしいまちを目指し、妊娠期からの切れ目ない支援体制として「吹田版ネウボラ」を構築しています。

「吹田版ネウボラ」では、保健センターとのびのび子育てプラザ等子育て支援機関が連携をとり、すべての妊婦さんや乳幼児を育てる家庭を対象として相談・支援を行っています。

※詳しくはホームページをご覧ください。

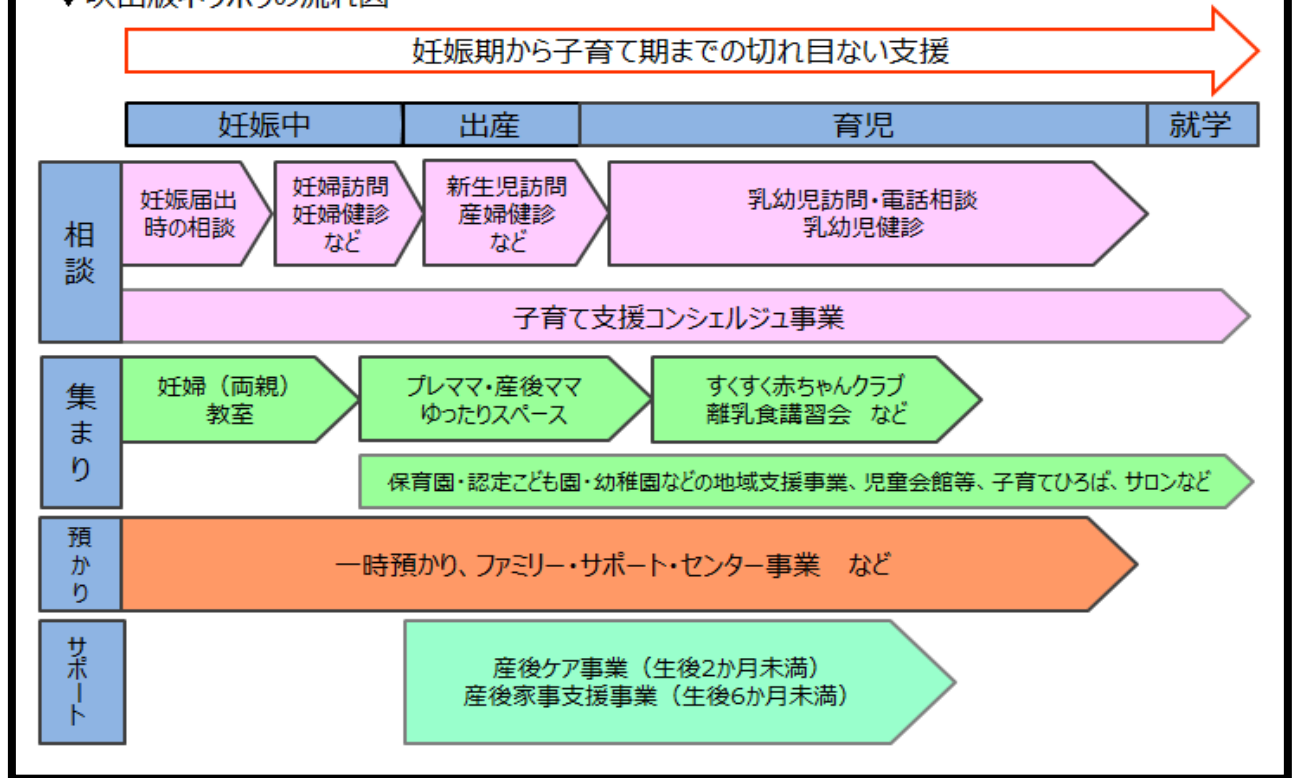


保健センターでは、妊娠・出産・育児に関する個別相談（窓口、電話、訪問）や教室・講座の開催をしています。保健師や助産師、管理栄養士、歯科衛生士等の専門職がお母さんの育児を応援しています。

のびのび子育てプラザでは、子育て支援コンシェルジュとして子育ての悩みやお子さんの発達の相談、保育園等の入園など専任の保育士や看護師、ケースワーカーが相談に応じ、子育ての情報提供や必要に応じて適切な機関とつなぐお手伝いをします。どんな小さな心配事でも気軽にご相談ください。



▼吹田版ネウボラの流れ図



妊娠届出時面接 （保健センター）

妊娠が分かれば、妊娠届出（母子健康手帳の発行）に来てください。妊娠届出時には、助産師や保健師が面接を行い、妊婦さんやその家族の方の様々な相談に応じたり、妊娠・出産・育児等の情報提供を行っています。

親子教室 （のびのび子育てプラザ）

お母さんと赤ちゃんの友だち作りのお手伝いをしています。生後2か月の赤ちゃんから対象の親子教室を月齢・年齢別に毎月開催しています。また、お父さんの育児支援として土・日曜日に月4回お父さんのための親子教室も開催しています。

新生児訪問（保健センター）

赤ちゃんが生まれたら、母子健康手帳別冊のピンクのはがき（出生連絡票）を郵送、FAX していただくか、電話でご連絡ください。子育て給付課窓口にてはがきの受け取りも行っています。助産師や保健師が訪問し、赤ちゃんの体重や身長を測ったり、産後のお母さんの体調・授乳・育児について相談に応じます。

